

日本文化政策学会年次研究大会「社会デザインとしての文化政策」を開催

日本文化政策学会は文化政策研究の発展と普及、文化政策立案と実践を通じた社会貢献、文化政策研究に関心を持つ人びとの交流とネットワーク化をはかるため、2018年次研究大会を九州大学大橋キャンパスにおいて開催します。大会テーマは「社会デザインとしての文化政策」。社会全体をつなぎ、相互に支え合い、分かち合う社会哲学であり新たな価値創造の実践思考でもあるデザインと文化政策は連携と創発を高めており、全国から訪れる気鋭の研究者・実践者たちが最新知見を発表し議論を交わします。

11月24日(土)の午後に開かれるシンポジウム①では、著書『法のデザイン』が大きな話題を呼んでいる弁護士・水野祐氏をお招きして、創造性を促す法のあり方などについてご講演いただきます。また、シンポジウム②では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて注目されている「文化芸術と社会包摂」の関係について議論をします。さらに、同日20時からは「屋台大学 in 福岡」と題したユニークな試みも行われます。

学会プログラムの詳細については、別紙1-1、2をご覧ください。(分科会と懇親会以外は、学会員以外の一般の方でも無料で参加できます。)

主催：日本文化政策学会

共催：九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ、九州大学芸術工学部芸術情報設計学科開設科目「フィールドワーク演習」、九州大学法学部公開講座「現代社会におけるクリエイティブ産業の役割 (JASRAC 寄付科目)」

主催者からひとこと：

専門家にはもちろん、一般の方にも興味を持っていただける内容の企画となっており、分科会と懇親会以外は、学会員以外の方でも無料で参加できます。シンポジウムのみ、屋台大学のみなど、個別の参加も可能ですので、奮ってご参加ください。

●主な内容

11月24日(土)

午前：企画フォーラム

①ミュージアム評価の総括と新たな手法構築に向けた試行

②文化政策の諸外国調査から考える 日本の文化政策への示唆

午後：シンポジウム

①社会デザインとしての文化政策と法の役割——『法のデザイン』の観点から◇講演：水野祐 弁護士

②社会包摂を目指した文化芸術事業・施策の評価 ——社会デザインの観点から

・ ・ 関連企画 ・ ・ ・ ・ ・

11月23日(金・祝)

◇市民公開特別講演会

「〈世界のトヨタ〉音響設計家豊田泰久氏、音響設計の魅力語る」

※詳細は別紙3-1、2をご覧ください。

◇糸島国際芸術祭2018(糸島芸農)

『マレビトの通り道』& Studio Kura 特別ツアー



※屋台大学の詳細は別紙2をご覧ください。

【お問い合わせ】

九州大学大学院 芸術工学研究院 藤原恵洋研究室

電話：092-553-4529

日本文化政策学会第12回年次研究大会事務局

Email : jacpr2018fukuoka@gmail.com

社会デザイン

日本文化政策学会第12回年次研究大会

としての文化政策

2018 | 1.24(土) 25(日)

九州大学大橋キャンパス

福岡市南区塩原 4-9-1

西鉄天神大牟田線「大橋」駅徒歩5分・JR鹿児島本線「竹下」駅徒歩15分

■ 公開シンポジウム I

社会デザインとしての文化政策と法の役割
—『法のデザイン』の観点から

〔講演者〕水野 祐 弁護士

■ 公開シンポジウム II

社会包摂を目指した文化芸術事業・施策の評価
—社会デザインの観点から

一般公開 無料 分科会・懇親会を除く

参加費無料で、分科会・懇親会以外の全イベントにご参加いただけます。

分科会 / 懇親会へのご参加は有料となります。

分科会で行われる発表内容および申し込み方法については日本文化政策学会のウェブサイトをご確認ください。

<http://www.jacpr.jp/>

日本文化政策学会は文化政策研究の発展と普及、文化政策立案と実践を通じた社会貢献、文化政策研究に関心を持つ人びとの交流とネットワーキングをはかるため、2018年次研究大会を九州大学大橋キャンパスにおいて開催します。大会テーマは「社会デザインとしての文化政策」。社会全体をつなぎ、相互に支え合い、分かち合う社会哲学であり新たな価値創造の実践思考でもあるデザインと文化政策は連携と創発を高めており、全国から訪れる気鋭の研究者・実践者たちが最新の知見を発表し議論を交わします。

〔研究大会プログラムに関する問い合わせ先〕

日本文化政策学会第12回年次研究大会（九州大学）事務局
〒815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1
九州大学大学院芸術工学研究院長津研究室
Email: jacpr2018fukuoka@gmail.com

〔上記以外（入会、参加申込・支払等）の問い合わせ先〕

日本文化政策学会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学研究室内
Email: jacpr_office2013@yahoo.co.jp URL: <http://www.jacpr.jp/>

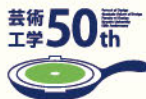
主催：日本文化政策学会

共催：九州大学大学院芸術工学研究院附属ソーシャルアートラボ、
九州大学芸術工学部芸術情報設計学科開設科目「フィールドワーク演習」、
九州大学法学部公開講座「現代社会におけるクリエイティブ産業の役割
(JASRAC 寄附科目)」

後援（予定）：福岡市、公益財団法人福岡市文化芸術振興財団、
九州大学大学院芸術工学研究院

助成：文化庁 平成30年度 大学における文化芸術推進事業（公開シンポジウム2）、
芸術工学50周年記念事業関連行事

九州大学

大学院芸術工学研究院
大学院芸術工学府
芸術工学部

大会タイムスケジュール 日本文化政策学会第12回年次研究大会 社会デザインとしての文化政策

2018 | 1.24 土 一般公開 無料・事前申し込み不要 (懇親会 有料・事前申し込み必要)

10:30-12:00 公開企画フォーラム 手話通訳有

企画フォーラム 1

ミュージアム評価の総括と新たな手法構築に向けた試行

[場所] デザインコモン 1F

[企画代表者・コーディネーター]

佐々木亨 北海道大学大学院文学研究科教授

[発表者]

北村淳一 三重県総合博物館学芸員

佐久間大輔 大阪市立自然史博物館学芸員

釋知恵子 公益財団法人大阪市博物館協会

黒岩啓子 Learning Innovation Network 代表

[コメンテーター] 亀山裕美子 日本評価学会認定評価士

企画フォーラム 2

文化政策の諸外国調査から考える日本の文化政策への示唆

[場所] デザインコモン 2F

[企画代表者]

朝倉由希 文化庁地域文化創生本部研究官

[発表者]

秋野有紀 獨協大学外国語学部准教授

朝倉由希 文化庁地域文化創生本部研究官

菅野幸子 アーツ・プランナー/リサーチャー AIR Lab

長嶋由紀子 東京大学大学院人文社会系研究科研究員

[ゲストコメンテーター]

藤野一夫 神戸大学大学院国際文化学研究所教授

12:00-13:15 昼食

13:15-13:30 挨拶

13:30-15:30 公開シンポジウム I 手話通訳有

社会デザインとしての文化政策と法の役割 ——『法のデザイン』の観点から

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ホール

[講演者] 水野祐 弁護士

[ディスカッサント]

熊倉純子 東京藝術大学大学院

国際芸術創造研究科 教授・同研究科長

大澤寅雄 ニッセイ基礎研究所

芸術文化プロジェクト室主任研究員

小島立 九州大学大学院法学研究院准教授



15:45-17:45 公開シンポジウム II 手話通訳有

社会包摂を目指した文化芸術事業・施策の評価 ——社会デザインの観点から

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ホール

[パネリスト]

朝倉由希 文化庁地域文化創生本部研究官

長津結一郎 九州大学大学院芸術工学研究院助教

中村美亜 九州大学大学院芸術工学研究院准教授

[ディスカッサント]

中川幾郎 帝塚山大学名誉教授、

日本文化政策学会顧問 (元会長)



Photo by Akiko Tominaga

18:00-20:00 懇親会 有料 会場：デザインコモン 1F

20:00-21:30 屋台大学 in 九州大学芸術工学部

プログラム 1

グローバル世界に拮抗する 九州ローカルデザイン&ストーリー

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ホール

[モデレーター]

樋口明彦 九州大学大学院工学研究院准教授

[パネラー]

津高守 JR 大分シティ代表取締役社長、前JR九州常務取締役

若杉浩一 九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授、

パワープレースシニアデザイナー

國盛麻衣佳 アーティスト・小田原短期大学講師



プログラム 2

周縁文化の力が連携とレジリエンスを生み出す ～漫画・マンガ・まんが、九州漫画風土の共創～

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ロビー

[発表者]

橋本博 志合マンガミュージアム館長、

NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクト代表

うえやまとち 漫画家、「クッキングパパ」作者、

(公社) 日本漫画家協会九州支部長



2018 | 1.25 日 分科会 有料

[事前振込] 会員 1,000円、非会員 2,000円、学生 1,000円

[当日申込] 会員 2,000円、非会員 4,000円、学生 2,000円

8:30 受付開始

9:00-11:20 分科会 I-A~E

11:30-12:00 5分間プレゼンテーション

12:00-13:00 ポスターセッション (コア・タイム) 一般公開 無料

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ロビー

12:00-13:00 昼食

13:15-13:45 総会

13:50-16:10 分科会 II-A~E

16:30-18:00 ラウンドテーブル 一般公開 無料 手話通訳有

未来の社会デザインと文化政策の役割

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ホール

関連企画

市民公開特別講演会 一般公開/無料/事前申し込み不要

〈世界のトヨタ〉音響設計家豊田泰久氏、音響設計の魅力語る

11月23日 [金・祝] 13:00-18:00 (開場 12:00)

13:00-14:00 劇団ティンカーベル プチミュージカル

14:30-15:30 「筑紫舞」事始め

16:00-18:00 講演会

[場所] 多次元デザイン実験棟 1F ホール

[問い合わせ先] keiyo@design.kyushu-u.ac.jp

主催：「〈世界のトヨタ〉音響設計家豊田泰久氏、音響設計の魅力語る」実行委員会

エクスカーション 一般からの参加も可/有料/要事前申し込み

糸島国際芸術祭2018 (糸島芸術) 『マレビトの通り道』& Studio Kura 特別ツアー

11月23日 [金・祝] 13:30集合 (予定)

[集合場所] JR 筑肥線 (福岡市営地下鉄空港線直通) 筑前前原駅 (予定)

[問い合わせ先] jacpr2018fukuoka@gmail.com

主催：日本文化政策学会第12回年次研究大会実行委員会

屋台大学 × 九州大学 芸術工学部

2018

11月24日（土） 20:00～21:30

九州大学大橋キャンパス（芸術工学部）
多次元デザイン実験棟1階ホール／ロビー

九州大学グローバルイノベーションセンター第16回GICセミナー

グローバル世界に拮抗する 九州ローカルデザイン& ストーリー

九州のローカルティ（地域性）と社会的包容力、
社会的包摂性とはなにか？

この地だから生まれた九州ならではの
ローカルデザイン&ストーリーをどう評価していくか？

【モデレーター】

樋口明彦

九州大学大学院工学研究院建設デザイン部門建設設計工学研究室准教授

【パネラー】

若杉浩一

九州大学グローバルイノベーションセンター客員教授
株式会社パワープレイスシニアデザイナー

津高 守

株式会社JR大分シティ代表取締役社長

國盛麻衣佳

アーティスト・小田原短期大学講師

周縁文化の力が連携と レジリエンスを生み出す ～漫画・マンガ・まんが、九州の共創～

はるか明治の頃より九州には漫画人材・人脈がいたって数多く輩出してきた。いったいそれはなぜだろうか。このセッションでは、漫画評論家・漫画プロデューサーとして高名な橋本博氏と国民的料理漫画「クッキングパパ」の作者・漫画家で現在、漫画家協会九州支部長をつとめるうえやまとち氏が対談形式を用いながらも自然体でフロア（聴講者）を巻き込んだ丁々発止のやりとりを生み出しつつ、九州漫画風土にまつわる地下水脈とそこから生み出された都市伝説の謎解きをフロア聴衆参加型で解き明かす。

【対談者】

うえやまとち

漫画家、料理漫画「クッキングパパ」作者
漫画家協会九州支部長（福津市在住）

橋本 博

合志マンガミュージアム館長
NPO 法人熊本マンガミュージアムプロジェクト代表（熊本市在住）

主催：日本文化政策学会

後援：九州大学大学院芸術工学研究院、九州大学大学院芸術工学府、九州大学芸術工学部

問い合わせ：九州大学大学院芸術工学研究院 藤原恵洋研究室

〒815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1 電話／092-553-4529 メール／keiyo@design.kyushu-u.ac.jp

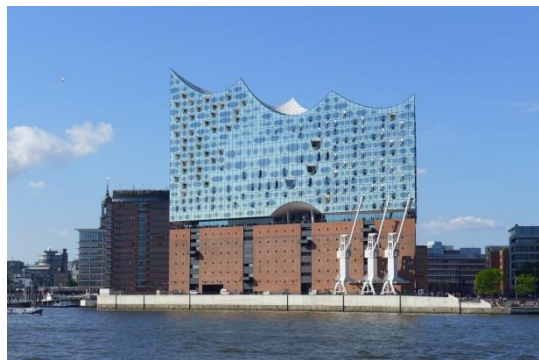
—ご案内—

日本文化政策学会研究大会関連企画

市民公開特別講演会〈世界のトヨタ〉音響設計家・豊田泰久氏、音響設計の魅力を語る

豊田泰久氏は現代を代表する音響設計家として世界中の著名なコンサートホールや劇場の音響設計を手掛けてきました。国内では、1986年開館のサントリーホールや1993年開館の北九州市立響ホールが知られます。2003年に米国ウォルト・ディズニー・コンサートホールをフランク・ゲーリー（米国）を手がけて以来、欧米のコンサートホールを数々手がけ〈世界のトヨタ〉と称されるようになりました。昨年開館した、ドイツ・ハンブルクのエルプ・フィルハーモニー（建築設計：ヘルツォーク&ド・ムーロン）やバレンボイム・サイド・アカデミーとして建てられたベルリンのピエール・ブーレーズ・ザール（建築設計：フランク・ゲーリー）など世界の名だたる建築家から引く手あまたで、中国・欧州・米国・ロシアなどへ進出を重ねています。

このたび日本文化政策学会第12回研究大会を開催する母校九州大学芸術工学部再訪を果たすと同時に、同学部多次元デザイン実験棟ホールを会場にして、市民を招き入れた市民公開特別講演会（聴講無料）「音響設計の魅力を語る」を開催し、芸術工学を通じた社会貢献を行います。また当日は、前段企画として同ホールにて13:00~14:00劇団ティンカーベル〈プチミュージカル〉、14:30~15:30筑紫舞伝承後援会による〈筑紫舞事始め〉を併せて公演します。



エルプ・フィルハーモニー外観（ドイツ ハンブルグ）

ピエール・ブーレーズ・ザール内部（ドイツ ベルリン）



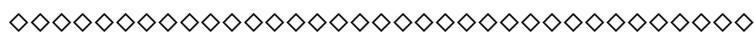
豊田泰久氏は1952年広島生まれ。

1972年に九州芸術工科大学（現在の九州大学芸術工学部）

音響設計学科入学（5期生）。

1977年に株式会社永田音響に入社。

現在はロサンゼルス事務所の代表を務める。



市民公開特別講演会

「日本文化政策学会第 12 回年次研究大会（九州大学芸術工学部）関連企画」

〈世界のトヨタ〉音響設計家 豊田泰久氏

～音響設計の魅力語る～

豊田泰久氏は世界中の著名なコンサートホールや劇場（国内、サントリーホール、北九州市の響ホール、昨年 2017 年、ドイツ・ハンブルク、エルブ・フィルハーモニー[建築設計：ヘルツォーク & ド・ムーロン]、バレンボイム・サイド・アカデミーとして建てられたベルリン、ピエール・ブーレーズ・ザール[建築設計：フランク・ゲーリー]）の音響設計を手掛けてきました。豊田氏に母校訪問を果たしてもらい、後輩の九州大学芸術工学部学生諸君や日本文化政策学会会員、幅広い市民を招き入れた市民公開特別講演会（聴講無料）を開催することで、芸術工学を通じた社会貢献、地域貢献を行います。

2018年

11月23日(金・祝)

開場 12:30 開演 13:00

■会場：九州大学大橋キャンパス 多次元デザイン実験棟ホール

■定員：200名 ■聴講料：無料

■プログラム

13:00～14:00 劇団ティンカーベル

プチミュージカル公演&表現ワークショップ

「演劇を通じた表現教育の可能性」

原 千波氏（劇団ティンカーベル主宰・原建設(株)グループ代表取締役社長）

14:30～15:30 〈筑紫舞〉事始め

「筑紫舞の創立と継承」

西山村津奈寿氏（二代目宗家）

川原正孝氏（筑紫舞伝承後援会理事長、株式会社ふくや会長）

16:00～18:00 市民公開特別講演会

「〈世界のトヨタ〉音響設計家 豊田泰久氏、音響設計の魅力語る」

歓迎の演奏 武内俊之氏（ピアニスト・福岡教育大学准教授）

講師 豊田泰久氏（音響設計家・本学芸術工学部音響設計学科5期生）

■交流夕宴会

「豊田泰久氏の音響設計哲学に触れる夕べ」

会場：九州大学大橋キャンパス デザインコモン

定員：50名（先着順）

参加予約・会費などの問い合わせ：下記実行委員会



豊田泰久氏

主催：「〈世界のトヨタ〉音響設計家豊田泰久氏、音響設計の魅力語る」講演会実行委員会（代表 藤原恵洋）

後援：九州大学大学院芸術工学研究院、九州大学大学院芸術工学府、九州大学芸術工学部

特別協賛：株式会社ふくや、劇団ティンカーベル

問い合わせ：九州大学大学院芸術工学研究院藤原恵洋研究室 〒815-8540 福岡市南区塩原 4-9-1 電話 092-553-4529

メール keiyo@design.kyushu-u.ac.jp